



こもり かずあき

古守 一晶 氏

生年月日 昭和19年4月10日生

住 所 田辺市新万

昭和19年、西牟婁郡白浜町に生まれる。高校卒業後、地方銀行に入社し地元の田辺支店に勤務するが、その後退社し、母親が経営する縫製業を継ぐ。

氏の活動の原点は、「ボランティア元年」といわれる平成7年よりもはるか前の昭和58年まで遡る。

氏が居住する田辺市の新万地域は新興住宅地であり、昭和58年当時は空き地も多く、仕事一辺倒の自身の生活に疑問を感じていたことも重なり、空き地に花を植えて地域の環境を少しでも良くし、潤いのある風景を作ろうとの考えから、「自分たちのまちを花いっぱいにしよう」と地域の仲間呼び掛けしたところ、11人が集結し「花つぼみ会」を結成、資金を出し合い、近所の公園や道路沿いの空き地に四季折々の花を植えるボランティア活動を始め、人々の目を楽しませていた。

近所の公園や通学路沿いに花を植える活動は、賛同してくれる人も徐々に増えてきたが、毎週のように花を植える活動には離れていく人もおり、決して順風満帆ではなかった。しかし、「花いっぱい運動」や「花まつり」などのアイデアがこの活動から生まれ、やがて、会員だけに止まらず子供会や老人クラブ、事業所、町内会などがこれらの活動に参加、市民ぐるみの活動に発展し、その活動は、やがて当地域に定着することとなる。

昭和63年、国道42号バイパスの沿道800メートルにコスモス10万本を植える取組で転機が訪れる。広大な面積に花を植えるために、氏の情熱に突き動かされる形で、「花つぼみ会」は市民や市内の企業・団体等に広く参加を呼び掛ける市民参加型の大きな活動へと舵を切った。日本では長らく、「ボランティア」は、それを趣味とするか、ある意味で特別な市民が行うものというイメージが強く、活動には困難を伴ったが、結果として、大きな成果を得ることとなり、この一連の取組により「花いっぱい運動」は市民活動として一気に加速していくこととなった。

以降、同バイパスが完全4車線化される平成11年までこの取組は続き、設立以来の実直な活動により、多くの団体や市民の賛同を得た。この市民活動のうねりをより一層大きな社会活動に発展させるため、平成11年12月、県内で2番目、当地域で

第 53 回 (令和 4 年)

は初めてとなる特定非営利活動法人を設立、活動は現在に至る。

法人化以降も新庄総合公園での市民参加型の公園づくりや学校・子供会・町内会等との「通学路花いっぱい事業」、市内各種団体の要望に応じた花の植栽に関するサポート事業等、まさに市民ぐるみのまちづくり活動を精力的に実践しており、ボランティアも年間延べ2,500人にのぼるなど、こうした長年にわたる数々の活動実績により、これまで多数の表彰を受賞。氏は、現在も、本市の市民活動の第一人者として、令和5年3月に本市で開催される第61回全日本花いっぱい田辺大会の実行委員会副会長を務め、本市における花いっぱい運動を自ら先導するなど、昼夜を問わずまちづくり活動に邁進している。

このように、世間に「協働」や「ボランティア活動」が広く浸透していなかった活動開始当初から、一貫して自らの信念を貫き、本市を拠点として花いっぱいのまちづくりに汗を流し、花のある風景を楽しむ心や周囲の環境を大切にする心を育むなど、花いっぱいのまちづくりを通して市民主体のまちづくりを地道に実践し、地域の市民活動文化を醸成してきた氏の功績は誠に多大である。

(略 歴)

昭和19年 西牟婁郡白浜町生まれ
昭和49年 田辺市新万に転入

(学 歴)

昭和38年 和歌山県立田辺高等学校卒業

(職 歴)

昭和38年 高校卒業後、旧阪和銀行に入社、田辺支店に勤務
昭和45年 旧阪和銀行を退社後、家業の縫製業を継ぐ
平成16年 60歳となった年に縫製業を廃業

(市民活動歴)

昭和58年 「花つぼみ会」発足 公園や道路沿いの空き地に四季折々の花を植えるボランティア活動を始める
平成11年 「特定非営利活動法人 花つぼみ」設立

(役職等)

昭和58年～ 花つぼみ会 会長 (平成11年まで)
平成11年～ 特定非営利活動法人 花つぼみ 理事長
平成18年～ 「日本風景街道 熊野」推進協議会 会長 (令和元年まで)
令和元年～ 「日本風景街道 熊野」推進協議会 顧問
令和2年～ 第61回全日本花いっぱい田辺大会実行委員会 副会長

(受賞歴)

※ 「花つぼみ会」又は「特定非営利活動法人 花つぼみ」として
昭和62年 「花いっぱいコンクール」建設大臣感謝状受賞
平成4年 「緑の愛護功労者」建設大臣感謝状受賞
平成10年 「地域環境美化功績者」環境庁長官賞受賞
平成13年 知事表彰 (ボランティア部門)
平成15年 「緑化推進運動功労者」内閣総理大臣表彰
令和元年 「道路愛護等功労者表彰」国土交通省近畿地方整備局長感謝状受賞
令和3年 「道路功労者表彰」(日本道路協会)